

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2393000365
事業所名	グループホーム つばさ今町

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：2） 開設1年未満のホームであり、地域行事に参加しながら少しずつ地域に馴染むことを目標にしている。 散歩時の挨拶、近所からの野菜の差し入れ等、日常の中で顔を合わせる機会を大切にしている。	評価 ○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：3） 運営推進会議には、自治会長や民生委員、老人会代表等の地域住民、地域包括支援センター職員が会議に参加している。 地域の情報は会議内の話題から収集し、利用者の暮らしに活かすよう努めている。	評価 ○
重点項目③	市町村との連携（外部評価項目：4） 地域包括支援センター職員が運営推進会議に参加し、イベントや行政の情報を提供している。 今後、認知症サポーター養成講座や徘徊模擬訓練に参加する計画があり、更に連携が深められるよう取り組んでいる。	評価 ○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：6） 家族の訪問は頻回で、その都度家族意見を聞き取るよう努めている。 開設して初めてのクリスマス会にはほとんどの家族が参加し、家族交流の機会となった。 今後も、様々な家族参加の行事の計画がある。	評価 ○
重点項目⑤	その他軽減措置要件 ○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。 ○運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。 ○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	評価 ○ ○ ○
総合評価		○

1. 外部評価軽減要件

- ① 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。
- ② 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。
- ③ 運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。
- ④ 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況（外部評価）が適切であること。

2. 外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	確認事項
2. 事業所と地域のつきあい	(例示) ① 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ② 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
3. 運営推進会議を活かした取組み	(例示) ① 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 ② 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取り組みを行っている。
4. 市町村との連携	(例示) ① 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ② 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	(例示) ① 家族会を定期的（年2回以上）に開催している。 ② 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③ 家族向けのホーム便り等が定期的（年2回以上）に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
総合評価	-	-	-	-	-	-	-	○			